

令和7年度 第1回 地域連携推進会 会議録

開催日時；令和7年6月30日（月）10：00～12：00

場所：美里学園 ピュア班活動室

1. 開会

2. 挨拶

3. 趣旨説明（篠崎施設長）

障害者支援施設と地域が協力し合い利用者の暮らしをより良くするための場です。本会議では利用者が地域社会に溶け込み安心して暮らせる環境を整えることを目指すとともに地域の皆様に施設や利用者の理解を深めていただき地域全体で支えあう体制を築くことを目的としています。

施設運営においてはサービスの透明性や質の向上が重要であり構成員の皆様による施利用者との設の訪問を通じて新たな視点をすることで運営改善やサービス向上に繋げていきます。また、利用者の権利が守られているか確認しその声を事業運営に反映する仕組みを重視しております。さらにこの会議を通じて利用者と地域の間に関係が見える関係を目指します。この関係により、利用者が地域行事に参加したり地域住民の方との交流が深めたりすることで生活の幅が広がることを期待されると思います。利用者の生活の質の向上、地域理解の促進、サービスの質の確保、そして権利擁護を実現するために地域と施設が共に歩むことが重要な取り組みであり私たちはこの取り組みについて最大に活用して利用者の未来を共に支えていきたいと考えています。

4. 出席者紹介（自己紹介の形式でお願いしました。参加者名簿参照）

5. 施設内見学

推進員3名、理事長、施設長、相田、日渡で案内。医務室、利用者居室、食堂、支援員室、男子浴室、消防放水用ポンプ室の見学

〈見学後のご意見、ご感想、ご質問〉

- ・元気な（活発な）利用者さんが多い印象。
- ・車椅子で生活している方はどのくらいいるのか。

6. 会議次第

- ① 法人紹介（法人沿革・動画視聴） 別紙 参考資料を配布しました
- ② 事業所紹介【報告者 篠崎施設長】 別紙 参考資料を配布しました

- ・美里学園の紹介

（施設入所支援、生活介護事業、短期入所事業、はが地区あんしんネット事業、児童相談所からの受け入れについて）

「児童の受け入れについては昨今、緊急受け入れ特に療育者の入院、虐待などの理由により受け入れが多くなっています。」

- ・職員配置状況・利用者状況について

「最年少は22歳、最高齢は70代後半の方がおり幅広い年齢層の利用者が生活しています。」

- ・利用者の生活の様子について【報告者 加藤智子】

- ・年間行事、季節のイベントと保護者会の活動について

「コロナ渦の時は行事の縮小、面会や保護者会活動が自粛されていたが、今は以前のような行事や外出、保護者会活動が出来るようになった」

「保護者会活動では保護者の方の高齢化もあり、面会に来られない、帰省できなくなっている現状があります。日帰りの帰省や職員がご自宅まで送るなどすることもあります。それでも保護者の方とは連携をとっていきたい」

「(光輝舎さんではどうですか) 保護者との関りは同じように高齢化しており、後見人をつける人が多くなっています。」

- ・非常災害時の対策について

「福祉施設の災害対策については利用者と職員の命を守るため多岐にわたる取り組みを行っています。」

「避難訓練も毎月行っていますが、これでよしということはないので都度、課題検討をしアップデートしています。昼間の訓練だけではなく、夜間避難訓練もしていますが夜間は職員の勤務者数も少なく、実際に有事の際は地域の方々に協力を頂かなくてはなりません。地域住民の方々の協力を得ながら防災体制を整備していきたい」

- ③ 虐待防止、権利擁護に関する取り組みについて【報告者篠崎施設長 相田課長】

「当施設では身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会を設置しています。身体拘束適正化委員会については日々の観察や記録を基にやむを得ず身体拘束を必要と

する場合があります。命の危険があるなどの事由により医師の指示や保護者の指示、同意を得たうえで適切な手順で行っています。虐待防止の取り組みについては、昨年度、虐待事案はありませんでしたが、適切な言葉使いをしているか、不適切なケアをしていないかなどで不適切なケアのケースがありその職員に注意、指導を行いました。現在は、職員全体の意識が向上して支援の質が高まっていると思います」

「(光輝舎さん) 安全ベルトの使用などで特に特殊浴槽などでの安全ベルトを使用する、車椅子からの転落防止のためのベルトを使用している方もいるので『安全配慮同意書』をとっています」

④ 意見交換

・「一般の方が施設についてなんとなくのイメージは持たれていても、実際に見学し知ってもらうことで地域の問題や地域で出来ることは何かなど自治会の皆さんと連携をとってやってもらいたい。役場の立場から制度の活用や地域の皆さんの活動が活発でないと町が成り立って行かないので今後も一役場職員として会議などに参加し情報を集約しながら地域づくりを進めていきたい」(谷口推進員)

・「改めて見学しどのような利用者があるか、事業運営のことなどを見せて頂き美里学園のことを理解することができた。この会議の意義がオープンにするという事なので成果があると思いました。」(手塚推進員)

・「防災の件で、避難所としての機能など地域住民の期待もあると思うので行政も考えてもらいたい。」(市川推進員)

・「防犯訓練も以前、警察の方に来ていただいたことがあります。また、ご近所の方から美里の利用者と思われる人が出ていると連絡をいただいたりします。避難訓練にも地域の方に参加していただいています。自分のとこだけではどうにもできないことがあります。やはり、地域の方だったり保護者の方だったりの協力が必要で課題です」

7. 閉会挨拶

8. その他連絡事項

次回開催 12月の予定